



[発行所] 福岡市中央区大手門1丁目4番16号  
TEL092-771-2931 西日本鉄道労働組合  
【編集発行者】川瀬直之  
定価 1部 30円 送料共  
(この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。)  
西鉄労組ホームページ (<http://nnr-u.org>) ▶



# 西鉄組合新聞

## 団結がんばろう! 西鉄労働組合定期大会特別号 9月27日(木)、第153回定期大会開催!



9月27日(木)、西鉄グランドホテル(福岡市にて、第153回定期大会を開催し、運動の基軸となる「2018年度運動方針」を決定するとともに、古賀孝治執行委員長をはじめとする新執行部が発足し、今後2年間の新たな運動をスタートさせた。

大会は、代議員、中央委員、特別中央委員のほか、来賓や傍聴者などを含め、約200名が参加。議長團には、溝辺代議員(宇美)、橘田代議員(筑紫乗務)、松尾代議員(国物東日本)の3名が選出された。

冒頭、古賀執行委員長は、①自然災害のお見舞い・防災等について②主要闘争について③組織の活性化について④来年4月の統一自治体選挙、夏の参議院議員選挙へ向けた組織力・政治力強化などについて述べた。(要旨は中面参照)

続いて、来賓を代表し、私鉄総連・木村書記長、連合福岡・西村会長、NTT労組九州総支部田畠委員長、政治局員・柄木義博福岡市議、高退協・松本会長からそれぞれ祝辞をいただき、続いて「もりやたかし」氏よりVTRメッセージによる力強い決意表明がおこなわれた。(要旨は中面参照)



第153回定期大会議長団(左から松尾氏、橘田氏、溝辺氏)



議事では、「主要闘争報告」「2017年度決算報告」「2018年度運動方針案」「2018年度予算案」などの各議案について執行部から提案説明がなされた。代議員からは、「2018年度運動方針案」について、離職防止、会社指定休暇、家族会の組織体制の構築など、多岐にわたって質問が出され、執行部との間で活発な議論のもと、満場一致で原案通り審議決定された。(質疑応答・決定録は中面参考)

また、来期の女性委員の選挙が行われ、6名が無投票にて選出された。議事終了後、改選された新執行部の紹介がされ、挨拶の中で古賀執行委員長は、会社の「まち夢ビジョン」にふれ、天神地区の発展が交通産業の発展にもつながることには期待するが、組合はその歴史と伝統をしっかりと守り、「組織強化は職場から」という姿勢で頑張つていくと、今後2年間への力強い決意を述べた。その後、退任した総方前副執行委員長が挨拶をおこなった。

最後に、全体で「団結がんばろう!」を三唱し、定期大会は閉幕。2018年度の運動をスタートさせた。

# 2018年度運動方針決定 新執行部のもと組織をさらに強化

# 古賀執行委員長あいさつ要旨

日頃から組合の諸活動に対するご理解とご協力に感謝申し上げるとともに、各職場各地域でのご活躍に敬意を表する。まず、労組顧問の松本龍氏が7月21日ご逝去された。これまであらゆる面からご指導いただき、その功績とご勞苦に対し深く感謝と敬意を表すとともに、心より哀悼の意を表す。

## 【自然災害について】



挨拶をする古賀執行委員長

## 【主要闘争について】

18春闘では、軽油価格の変動の懸念や天神街区の再開発への投資など不安材料も挙げられていました。一方で、労組としての活性化についても、常に発展途上という認識に立ち、新たな発想での取り組みも挑戦してきました。

## 【政治力強化について】

来年は、4月の統一地方選挙と7月の参議院選挙が同年に施行される12年に一度の選挙イヤーであり、例年以上に政治力強化について一層のご理解とご協力ををお願いしたい。

交通政策はもとより、産業政策、働き

料がありながらも、日頃からの組合員の努力や優秀な人材の確保へへの投資を強く主張し、積極的に交渉を進めた。19春闘においても、「組合員の雇用と生活の確保」という観点から「生産では協力するが分配では対立する」という基本姿勢で、「人への投資」の必要性を訴え、交渉重視で臨むものとする。具体的には、総連方針に則り、19春闘方針案の中で提起するが、組合員の団結力を背景に粘り強く交渉を進めていくので、職場からの闘争体制強化をお願いしたい。

18春闘で、組合組織と職場環境の点検をおこなう。組合員が安心して働き続けられる職場環境の構築をめざし、各職場における環境の相違に捉われず、一步でも前進させることが重要であり、組合員全員の参加によって組織強化にも繋がる取り組みとした。

## 【組織の活性化について】

国際物流部門における業種やばら化にも大きく寄与しているものと感謝申し上げる。この災害を決して風化させることなく、一日でも早く日常が取り戻せるよう、復旧復興を願つてやまない。組合としては、連合福岡や交通労協を通じ、県や自治体に対して防災・減災への取り組み、避難所における住環境の整備などの要請をおこなっている。個々の家庭においても、日常から避難場所の確認や安否確認の方法など、身の安全確保をはじめ、住居に対する備えについても対応策を議論しておかれているようお願いする。

## 【経営状況について】

天神街区の再開発への投資など不安材料も挙げられていました。一方で、労組としての活性化については、常に発展途

上という認識に立ち、新たな発想での取り組みも挑戦してきました。

方などの労働政策、急速に進む高齢化に伴う社会安全保障政策と税制問題、子育てと教育政策、そして平和問題など、労働者、生活者の視点に立った改革すべき課題は山積している。私たちは政治に関心を示し、これらの課題に常に問題意識を持ち、自らが関わっていくことが一人ひとりに課せられた責務だと考える。

このような中、来年4月の第19回統一地方選挙では、組合内議員として5期20年、働く者の代表として交通政策を中心ご尽力いただいた早良区選出の「柳木義博」市議の勇退を受け、後任として

料がありながらも、日頃からの組合員の努力や優秀な人材の確保へへの投資を強く主張し、積極的に交渉を進めた。19春闘においても、「組合員の雇用と生活の確保」という観点から「生産では協力するが分配では対立する」という基本姿勢で、「人への投資」の必要性を訴え、交渉重視で臨むものとする。具体的には、総連方針に則り、19春闘方針案の中で提起するが、組合員の団結力を背景に粘り強く交渉を進めていくので、職場からの闘争体制強化をお願いしたい。

18春闘で、組合組織と職場環境の点

検をおこなう。組合員が安心して働き続けられる職場環境の構築をめざし、各職場における環境の相違に捉われず、一步でも前進させることが重要であり、組合員全員の参加によって組織強化にも繋がる取り組みとした。

「権藤英樹」氏の擁立を決定した。さらに准組織内候補として、東区選出の県議会議員佐々木徹氏の擁立も決定した。私たちが掲げる政策要求実現のために、従来からの政治方針である「政策と人」に則り、取り組みを進めていく。

また、7月の第25回参議院議員比例代表選挙においては既に後援会入会活動などで協力をいただいている、私鉄総連組織内候補「もりやたかし」氏の捲土重来を期して、前回以上の取り組みを展開しなければならない。日本人は全国キャラバンを展開中で、11月には九州オルダの予定となっている。本人と直接会い、組合員との対話を含め、取り組み強化と投票行動につながる活動を改めてお願いする。

統一地方選挙、参議院議員選挙、いずれにおいても現在、取り組んでいる政策課題克服に向けて、政治団体NNRU交通政策研究会と連携を図りながら、通政策研究会と連携を図りながら、労使間で協議をしていきたいと考

めています。現段階では特に離職の多い乗務員の問題について、賃金制度が改定され、賃金面では一定程度の魅力を確保してきたと思っている。

また、若い世代の離職が多いといふ状況から、不規則勤務、要員不足に伴う時間外勤務増で「プライベートな時間がない」と取れないなどの意見をいただいています。そこでまず、要員不足の解消に取り組み、会社部はどうのような考え方を持っているのかお聞かせ願いたい。

日頃は、古賀執行委員長はじめ、職場のみなさまにお世話になっていること心より感謝申し上げる。

昨年の10月より、第25回参議院議員選挙へ向けて、全国キャラバンをスタートさせた。今回は2回目の挑戦であります。立憲民主党から公認をいただいて、選挙に臨む。各職場をまわる中で、職場の仲間のみなさまから、「もりやたかし」は最後の最後まで全力をあげて頑張つていて所存である。どうか引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げる。

# 質疑応答 要旨

## 【審議事項3号議案】

### 【2018年度運動方針(案)決定に関する件】

#### D・組織対策活動の強化について

##### ●離職防止について

##### 【質問】 柳川乗務分会 古賀代議員

##### 「離職防止をはじめ労働環境の問

##### 題点を抽出し、改善に向けて、部門

##### 労使間で協議をおこなう」とあるが、

##### 現在、協議している内容、また、執行

##### 部はどうのような考え方を持っているの

## 【答弁】

現在、鉄道部門の労使間では、働き方、働く環境について協議をおこなうことを目的として、国際物流部門に東京と名阪の2分会を新設し、分会組織を再編した。これにより組合員と執行部の距離が一層縮まったので、分会

組織としては、連合福岡や交通労協を通じ、県や自治体に対して防災・減災への取り組み、避難所における住環境の整備などの要請をおこなっている。個々の家庭においても、日常から避難場所の確認や安否確認の方法など、身の安否確保をはじめ、住居に対する備えについても対応策を議論しておかれているようお願いする。

## 【会社指定休暇について】

### 【年始手当について】

会社指定休暇の導入は、人員確保のためには必要な制度だと思う。しかし、我々の職場はその対象外となるっている。運動方針(案)にも「会社指定休暇の対象部署拡大や職種・職場の実情に即した施策を労使で検討する」とあります。



「もりやたかし」氏よりVTR メッセージ

日頃は、古賀執行委員長はじめ、職場のみなさまにお世話になっていること心より感謝申し上げる。

昨年の10月より、第25回参議院議員選挙へ向けて、全国キャラバンをスタートさせた。今回は2回目の挑戦であります。立憲民主党から公認をいただいて、選挙に臨む。各職場をまわる中で、職場の仲間のみなさまから、「もりやたかし」は最後の最後まで全力をあげて頑張つていて所存である。どうか引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げる。

## 【答弁】

れもひとえに、後援会の取り組みに対して各組合の執行委員長、そして組合員のみなさまがご尽力いただいているおかげで、本当にありがとうございます。とにかく課題も出てくるものと考えられ、グループ企業内組合間の連携が一層求められる。共通認識をもって、西鉄グループで働く仲間と一緒に運動を推進していくことを、このように心強く感じている。

6月に新幹線の中で大変痛ましい事件が発生した。私たち公共交通機関の最大の使命である安全・安心な運行に対する取り組みについても、職場

からの声を、想いを、国政の場に伝えていくことが私の一つの役目だと思つていている。「私「もりやたかし」は、職場の仲間のみなさまから、「もりやたかし」は最後の最後まで全力をあげて頑張つていて所存である。どうか引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げる。

選挙まで1年を切った。「もりやたかし」は最後の最後まで全力をあげて頑張つていて所存である。どうか引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げる。

れもひとえに、後援会の取り組みに対して各組合の執行委員長、そして組合員のみなさまがご尽力いただいているおかげで、本当にありがとうございます。とにかく課題も出てくるものと考えられ、グループ企業内組合間の連携が一層求められる。共通認識をもって、西鉄グループで働く仲間と一緒に運動を推進していくことを、このように心強く感じている。

6月に新幹線の中で大変痛ましい事件

く手当を支給すべきと考えるが、執  
行部の考え方をうかがふと、廿頃、之。



「改善基準遵守に向けた労使検討委員会」があり、これを拡大し、乗務員の方も含めた働き方の検討委員会を立ち上げ、議論するとしている。兼業部門については、非常に範囲が多岐にわたっていることから、組織部長を中心として、労使間で直接検討していく。

次に、年始手当の件であるが、労働協約上、自動車部門では「自動車乗務員」となっている。これに対し鉄道部門は「各乗務所」となっており、乗務員だけではなく労働基準法も含まれる。

【答弁】  
会社指定休暇の対象部署拡大や職種・職場の実情に即した施策の検討をおこなうということで、鉄道部門では検討委員会を立ち上げ、既に労使で話し合っている。できることから取り組んでいくことで理解願いたい。自動車部門についても

自動車の年始手当の対象について、現段階という答弁だったが、同じく職種・職場でありながら手当に違いがあるのはおかしいと感じる。質問があるのはおかしいと感じる。質問するよりは、自動車部門の年始手当の対象を左げるよう執行部でも検討していくべきだ。

【答弁】  
昨年の運動方針の中で、家族会の中でも組織体制を検証したい旨、表記させていただいた。その中で家族会幹事会において話し合った内容は、「今年度の運動方針にもあるように、「部門・分会・家族会組織などと本部直轄家族会員組織を作り、誰もが参加できる『みんなの家族会』をめざす」ということである。

●家族会対策について

質問 柳川乗務分会 松尾代議員

家族会の組織のあり方について  
「一年間の議論を踏まえ新たな組織体制を構築する」とあるが、どのよ  
うな体制か具体的にお聞かせいただき  
たい。

必要にもなってくる。組合として十分検証し会社と協議しなければならない。從つて、すぐに18秋闇で取り組むということにはならないがこの件に関しては今後、真摯に検討していく。

同一職種・職場で年始手当がつくつかないと問われれば、執行部として検討していくなければならない。考える。しかし助役に限らず、シフト上、年始に勤務する方も含め、組合本部の中で全体を精査し検討していく。年始手当については、人7000円という大きな原資が

A black and white photograph of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit and tie. He is holding a microphone and appears to be speaking at an event. The background features large, stylized hexagonal patterns.



**質問** 柳川稟務分科会  
家族会の組織の方に尾で、  
「一年間の議論を踏まえ新たな組織  
体制を構築する」とあるが、どのよう  
な体制か具体的にお聞かせいただき  
たい。

必要にもなってくる。組合として十分検証し、会社と協議しなければならない。従つて、すぐに18秋闇で取り組むということにはならないが、この件に関しては今後、真摯に検討していく。

同一職種・職場で年始手当がつくつかないと問われれば、執行部として検討していくなければならない。考える。しかし助役に限らず、シフト上、年始に勤務する方も含め、組合本部の中で全体を精査し検討していく。年始手当については、人7000円という大きな原資が

【再質問】  
自動車の年始手当の対象について  
て、現段階という答弁だったが同じく  
職種・職場でありながら手当に違い  
があるのはおかしいと感じる。質問者  
というより要望になるかと思うが  
自動車部門の年始手当の対象を左  
げるよう執行部でも検討していくだ  
きたい。

- 朝倉福四郎 銀タルクニマサ 優柔組合 執行委員長 福田博之
- 久留米西鉄タクシードライブ組合 委員長 島 寛史
- 西鉄労組顧問 井上貞美
- 顧問弁護士 市川俊司
- 高齢者退職者協議会 会長 松本和己
- 家族会 中央幹事長 井上洋子

- 西鉄観光バス労働組合 執行委員長 大坪得雄
- 西鉄旅行労働組合 執行委員長 福井朗文
- 西鉄運輸労働組合 執行委員長 宮崎貞次
- 西鉄車体技術労働組合 執行委員長 佐々木創一郎
- 築豊電気鉄道労働組合 執行委員長 宮原征也

- 福岡県交通連輸産業労働組合協議会議長 村木智隆
- 九州労働金庫 福岡県本部本部長 梶原正実
- 全労済福岡推進本部 本部長 佐田正一
- 福岡市議会議員 柄木義博
- 福岡県議會議員 佐々木徹
- 西鉄バス北九州労働組合 執行委員長 木原正志
- 西鉄グループバス労働組合 執行委員長 田上智宏

- 連合福岡  
政策・連帯局次長 大塚 恵
- NFT労組九州総支部  
執行委員長 田畠忠治
- 西部労ス労働組合  
中央執行委員長 福田 峻
- 九州電力労働組合本部  
執行委員長 木 九郎

# 来賓の方々

（敬称略順不同）

来賓の方々

方尺

祝電・メッセージをいただきました

二三

祝電・メッセージ

- 衆議院議員 辻元清美
- 福岡県知事 小川洋
- 福岡市長 高島宗一郎
- 北九州市長 北崎健治
- イタク労連
- 交通労連福岡支部
- 運輸労連福岡県連合会
- NTT労組九州総支部
- 自治労北九州市交通局労働組合
- 全国一般労働組合福岡地方本部
- 全国自動車交通労働組合連合会福岡地方連合会
- 全自由交渉費地区タクシー労働組合
- 全日本通労組合福岡支部
- 全日本港湾労働組合博多支部
- 日本鉄道労働組合連合会福岡県協議会
- 日本郵政ブループ労働組合福岡連絡協議会
- 私鉄連合自治体議員会議議員比例代表選挙組織内候補
- ムーンスター労働組合
- 全労済福岡推進本部
- 九州労働金庫
- 日本私鉄労働組合東北地方連合会
- 日本私鉄労働組合関東地方連合会
- 日本私鉄労働組合北陸地方連合会
- 日本私鉄労働組合中部地方連合会
- 日本私鉄労働組合関西地方連合会
- 日本私鉄労働組合四国地方連合会
- 私鉄工会連合会
- 私鉄九州労働組合連合会
- 私鉄九州ハイタク労働組合連合会
- 東京地下鉄労働組合
- 東武交通労働組合
- 東急労働組合
- 京成電鉄労働組合
- 京王電鉄労働組合
- 京浜急行労働組合
- 小田急労働組合
- 関東自動車労働組合
- 相模鉄道労働組合
- 東京ベイシティ交通労働組合
- 江ノ島電鉄労働組合
- 富山地方鉄道労働組合

決 定 錄

B項	A項
① 拠り決定	報告書等 主たる問題の報告書 一般会務報告
② 承認事項	2011年度決算並びに 会計監査報告書に関する件
③ 議場実績報告書	議場実績報告書
④ 球審委員会報告書	議場実績報告書
⑤ 動議提出なし	議場実績報告書

## 無投票当選

区分	氏名	所属分会
女性委員	自動車 森山 珠美	新宮分会
	自動車 増田芙美子	宇美分会
	鉄道 吉永 未希	筑紫乗務分会
	兼業 金納 敦子	事務分会
	兼業 高倉 舞	国物東京分会
	兼業 西村 昌子	国物西日本分会

上記の者、選挙規程34条により無投票当選した。

## 女性委員選挙結果

第57回組合員  
褒賞規程適用者

今回で定期大会への参加が3回目となり、大会を重ねることに増す「もりやたか」氏の様々な政策への熱い思いと、選挙に対する真摯な姿勢を改めて感じました。突然発生の大変な自然災害が多く発している昨今、鉄道部門所属としては、要員不足の解消や、適切な労働時間と時間配分を見直して、特に関心を持っています。「組合員の生活を守る意識」という点で、今後も組合員と共に二つ持ち、今後も組合員と共に二つ持ちして運動を続けていきます。



要員不足・働き方に  
議論に特に関心

議院議員選挙では、「もりやたか」氏の当選を果たさなければなりません。全員を当選させて私たちの声を議会に届けるために、団結してがんばりましょう。

今回は、選挙前の定期大会で、選挙に向けて気持ちが新たになる大会となりました。来年の統一地方選挙では、組織内候補として新たに立候補する「ごんどう英樹」氏と、準組織内候補の「佐々木」とおる氏、そしてなんと言つても参議院議員選挙では、「もりやたか」氏の当選を果たさなければなりません。全員を当選させて私たちの声を議会に届けるために、団結してがんばりましょう。



各選挙の全員当選を  
めざし、団結

## 第153回定期大会に参加して



今回で定期大会への参加が3回目となり、大会を重ねることに増す「もりやたか」氏の様々な政策への熱い思いと、選挙に対する真摯な姿勢を改めて感じました。突然発生の大変な自然災害が多く発している昨今、鉄道部門所属としては、要員不足の解消や、適切な労働時間と時間配分を見直して、特に関心を持っています。「組合員の生活を守る意識」という点で、今後も組合員と共に二つ持ちして運動を続けていきます。

議院議員選挙では、「もりやたか」氏の当選を果たさなければなりません。全員を当選させて私たちの声を議会に届けるために、団結してがんばりましょう。

近年、「働き方」に関して、世間では大きな関心が寄せられていますが、働き方を改善する上で欠かせない要員不足の解消は、各職場で関心が高い問題のひとつだったと思います。大会での議論を聞き、人材の確保・流出防止のためにも、賃金の改善に加え、フレックスタイムの推進、女性の人員確保のための育児休暇充実など、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを早急に進める必要があると感じました。今回、感じたことを今後の組合活動に活かしていきたいと思います。



ワーク・ライフ・バランス  
の実現に向けて

財務部	政治部次長	会計監査	兼業対策部長	組織部長	執行委員長
職員 秋月 明美	職員 権藤 英樹 <small>(鉄道・電車技術)</small>	職員 石井 博文 <small>(自動車・鉄道運転)</small>	職員 北島 崇志 <small>(兼業・本社事務)</small>	職員 本間 大介 <small>(兼業・国際物流中央)</small>	吉賀 孝治 <small>(自動車・卓良)</small>
総務部	財務部長	会計監査	自動車対策執行委員	自動車対策部長	副執行委員長
職員 長谷川紀子	職員 末次 和美	坂本 祐介 <small>(鉄道・柳川乗務)</small>	松本 洋次 <small>(自動車・那珂川)</small>	山本 義美 <small>(自動車・柏原)</small>	森 健 <small>(鉄道・自選)</small>
組織局	教育宣伝部長	会計監査	鉄道対策執行委	鉄道対策部長	書記長
職員 山崎 真季	職員 川瀬 直之	猪口 昌敏 <small>(兼業・本社事務)</small>	牧野 英人 <small>(鉄道・筑紫工場)</small>	渡辺 裕二 <small>(鉄道・筑紫乗務)</small>	吉賀 栄一 <small>(自動車・桧原)</small>

## 西鉄労組 新執行部・職員紹介

## 執行部退任者

組合のために  
ご尽力いただき、  
ありがとうございました。

前副執行委員長  
緒方 勝則



専従として20年間、組合で務めさせていただきました。その間、諸先輩方、ここにおられる代議員の方々、そして各職場の方々にまで暴言と毒舌を吐きながらも親しくしていただきました。この場を借りて、みなさんにお詫びとお礼を申し上げたいと思います。また、この場におられない方々にも、みなさんからよろしくお伝えください。去る者は多くを語らず。ありがとうございました。